



月曜日

15

きょうのみことば

使徒 10:1~8

さて、カイザリヤに  
コルネリオという人が  
いて、イタリヤ隊という  
部隊の百人隊長  
であった。(1)

## 神様の<sup>かんしん</sup>關心

神様は、世界の<sup>もと</sup>基のおかれる前に、すでに救われる者を選んでお  
かれました。そして、すべての<sup>じこくひょう</sup>時刻表をそこに合わせられました。  
コルネリオが、まさにそのような<sup>じんぶつ</sup>人物です。

コルネリオは、ローマの軍隊の将校でした。彼は異邦人だった  
のですが、神様を<sup>しん</sup>信じる<sup>はい</sup>敬けんな人でした。しかし、イエス様を  
知らなかったのです。それで、神様は<sup>いの</sup>祈っていたペテロに向かっ  
て、コルネリオのところに行って福音を伝えなさいとおっしゃいま  
しました。

レムナントのみなさん「あの友だちは、福音を伝えても聞か  
ないよ」と考えた時がありますか。その友だちが神様が救おうと定  
められた人なのか、そうではないのか、私たちはわかりません。  
それで、ペテロのように祈りながら細かく導かれなければなりま  
せん。

ところで、特別な<sup>とくべつな</sup>点があります。ペテロがシモンという<sup>かわ</sup>皮を  
修繕する人の家にとまっていたことです。彼は皮なめしの<sup>しごと</sup>仕事だ  
けをしている人ではありませんでした。「あの人は、神様が救おう  
と定められた人なのだろうか」と思いながら、いつも伝道する準備  
をしていた人でした。神様の<sup>かんしん</sup>關心は、シモンのような弟子を<sup>まか</sup>任せ  
られるほどの<sup>じゅうしよくしや</sup>重職者にあります。また、伝道運動をするペテロの  
ような牧師にあります。

レムナントのみなさん、はやく気づかなければなりません。  
<sup>じゅうしよくしや</sup>重職者シモンのように、いつも<sup>でんどう</sup>伝道する準備をして、<sup>ぼくしせんせい</sup>牧師先生  
のために<sup>てたす</sup>手助けをする人に神様のすべての<sup>かんしん</sup>關心があるということ  
です。

神様の<sup>かんしん</sup>關心が救われる人、<sup>でんどう</sup>伝道する準備ができてい人、<sup>でんどううんどう</sup>伝道運動をする<sup>ぼくしせんせい</sup>牧師先生にあるという  
事実を分かりました。神様の<sup>かんしん</sup>關心が私の<sup>かんしん</sup>關心になるように、<sup>おも</sup>恵みをあたえてください。教会をしっ  
かりと守る<sup>じゅうしよくしや</sup>重職者として<sup>せいちやう</sup>成長することができるように、福音エリートにならせてください。イエス様の  
お名前によってお祈りします。アーメン



◎<sup>ていにくいの</sup>定刻祈りの<sup>てんけん</sup>点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

# 女のレムナントのモデル エステル

その日の夜、王はまったく眠れませんでした。  
王は陛下に王宮の目録を持って来なさいと言いました。  
「王宮の門を守っていた王の管管、ピグタナとテレシュが玉を  
繰そろうした陰謀をモルデカイが報告してくれた」  
王は陛下を呼んでたずねました。

「このことをしたモルデカイにほうびを写えたのか」

陛下は腹をかかめながら話しました。

「何もしていません」

「そうか。だれが籠にいるのか」

「はい。ハママンがいます」

「入ってくるように」

ちようどハママンが王にモルデカイを柱にぶら下げてくださいと  
求めるために王宮の外籠に  
いました。ハママンは、王が  
自分を呼んだので「よし！」  
と言って入っていききました。

22日に続きます



4

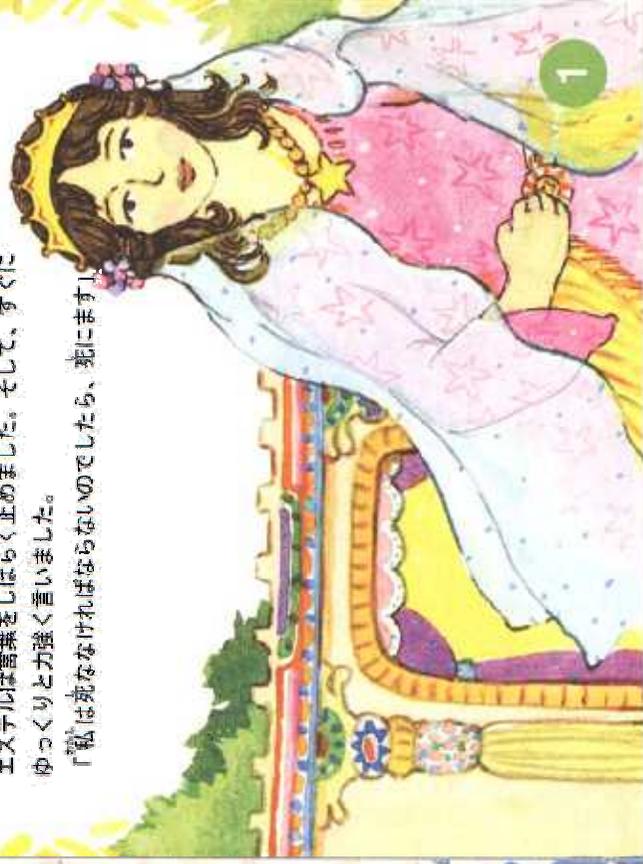
エステルは、モルデカイのことばをじっくりと確認してみました。  
「..そこに入ったのは、このときのためのものなのか、だれが  
分かるでしょうか」

しばらく考えたエステルは、口を開きました。

「行ってシユシヤンにいるユダの人々を集めて、私のために  
断崖してください。昼も夜も3日間食べずに、飲むことも  
しないでください。私と私の侍女たちも断崖します。」

そのあとに、法をやぶっても、王の前に出て行きましょう」  
エステルは言葉をしばらく止めました。そして、すぐに  
ゆっくりと力強く言いました。

「私は死ななければならぬのでしたら、死にます」



1

断崖<sup>たんげん</sup>をして3日目になる日でした。エステルは競<sup>かぎ</sup>の前<sup>まへ</sup>に立<sup>た</sup>って最後に身<sup>み</sup>なりを整<sup>ととの</sup>えました。そして、王<sup>わう</sup>がいる王宮<sup>わうきゆう</sup>の中の庭<sup>にわ</sup>に入<sup>い</sup>って行きました。

「いや、王妃<sup>わき</sup>ではないか」

入口<sup>いりぐち</sup>のほうを見た王<sup>わう</sup>は、エステルを見つけて、とても喜<sup>よろこ</sup>びました。

王<sup>わう</sup>は、すばやく手に持<sup>も</sup>っていた金<sup>かね</sup>の券<sup>けん</sup>をさしのばしました。

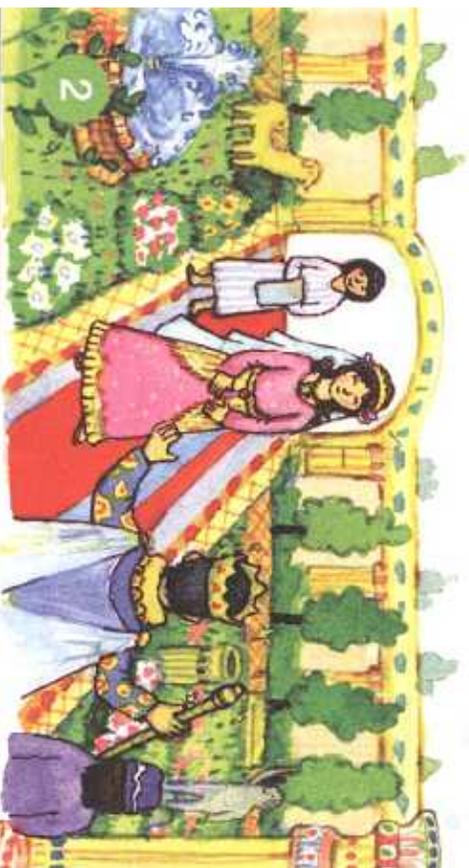
エステルは近くに行<sup>い</sup>って、金<sup>かね</sup>の券<sup>けん</sup>をさわりました。

「どうしたのだ、王妃<sup>わき</sup>」

王<sup>わう</sup>はエステルをととても愛<sup>あい</sup>している目で見ながら話<sup>わ</sup>しました。

「私<sup>わたし</sup>が今日<sup>けふ</sup>、王<sup>わう</sup>様<sup>さま</sup>のためにパーチイを準備<sup>じゅんび</sup>したので、よろしければハマンといっしょにきてください」

エステルの話<sup>わ</sup>に、王<sup>わう</sup>は非常<sup>ひじょう</sup>に喜<sup>よろこ</sup>びながら、ハマンとパーチイに行<sup>い</sup>きました。エステルは次<sup>つぎ</sup>の日<sup>ひ</sup>もパーチイに来てくださいとお願<sup>ねが</sup>いしました。



ハマンは、王妃<sup>わき</sup>が自分<sup>おん</sup>だけ招<sup>ま</sup>いてパーチイをしてくれたことが内<sup>うち</sup>心<sup>こころ</sup>、うれしかったのです。ところで、王宮<sup>わうきゆう</sup>の門<sup>かど</sup>を出<sup>で</sup>てモルチカイに会<sup>あ</sup>うようになりました。モルチカイが自分<sup>おん</sup>におじぎをしないので、ハマンはうれしかった心がすべて消<sup>く</sup>えてしまいました。ハマンは、妻<sup>つま</sup>のゼレシュと友<sup>とも</sup>だちに今日<sup>けふ</sup>あった事<sup>こと</sup>を言<sup>い</sup>いました。すると、ゼレシュと友<sup>とも</sup>だちが言<sup>い</sup>いました。

「50 キュピト (約22.5メートル) くらいの高<sup>たか</sup>さを立<sup>た</sup>てて、朝<sup>あさ</sup>の朝<sup>あさ</sup>王<sup>わう</sup>様<sup>さま</sup>にモルチカイをそこにごら下<sup>くだ</sup>げてくれとお願<sup>ねが</sup>いするように。」

そして、喜<sup>よろこ</sup>んで王<sup>わう</sup>といっしょに王妃<sup>わき</sup>が開<sup>ひら</sup>くパーチイに行<sup>い</sup>ったらよいハマンは、いやらしくにつこり笑<sup>わら</sup>うと、召<sup>よ</sup>し使<sup>つか</sup>いたちに50 キュピトの高<sup>たか</sup>さを立<sup>た</sup>てると命<sup>いのち</sup>令<sup>れい</sup>しました。



# 神様を体験しよう

火曜日

16

きょうのみことば

出 24:12~18

主の栄光は、イスラエル人の目には、山の頂で燃え上がる火のように見えた。モーセは雲の中はいて行き、山に登った。そして、モーセは四十日四十夜、山にいた。(17-18)

神様はイスラエルに、40日昼と夜を待てと言われました。なぜ神様は40日昼と夜を待てとおっしゃったのでしょうか。

## 1. 神様の力を体験しなさい

イスラエルでは、「40」という数字を最後まで耐えてこそ、苦しみが完成されると思っています。神様は、荒野に行くことがどれくらい苦しいことなのかご存知でした。それで、神様の力を体験して行きなさいと、40日昼と夜を待てとおっしゃったのです。

## 2. 確実な答えを体験しなさい

神様は、石にきざんだ十の戒めをくださいました。石にきざんだ字は消えません。絶対になくならないみことばとして、確実な答えをくださったのです。レムナントにも神様は石にきざんだみことばをくださいます。いつくださるのでしょうか。日曜に講壇を通してみことばをくださいます。レムナントは、そのみことばをかたくにぎれば、荒野で勝利したイスラエルのように勝利することができます。

## 3. 完ぺきな解決策をくださいました

イスラエルが、一週間あれば行けるカナンに、40年間、回って行った理由は、奴隷の体質と、不信仰の体質をなくすためでした。まだ、過去の傷がいたいのでしょうか。私たちはイエス様のお名前で、すでにきれいにいやされました。もう倒れることなく、土台にして勝利しましょう。

私たちにもっと良いことをくださる神様に、本当に感謝します。毎日、みことばの中で神様の力を体験して、完全福音の信仰の根を深くおろす伝道弟子にならせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

※ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



水曜日

17

きょうのみことば

ローマ 13:1-7

人はみな、上に立つ権威に  
従うべきです。神に  
よらない権威はなく、  
存在している権威は  
すべて、神によって  
立てられたものです。  
(1)

## あい 国を愛するレムナント

国を治めている指導者を総理大臣（首相）と言います。学生を教える指導者を先生と言います。家庭を治める指導者を親と言います。人が立てたようですが、神様の許しの中で立てられた指導者です。ですから、レムナントは指導者によく従わなければなりません。

### 1. 指導者のために祈らなければなりません

指導者の中には良い人もいて、悪い人もいます。ところで、悪い指導者が立てられれば、国に大きい災いが来ます。パロの心にサタンが入ってイスラエルの赤ん坊を殺せと命令したことを見ればわかるでしょう。それで、レムナントは、指導者のために祈らなければなりません。

### 2. 指導者の命令を拒否しなければならない時があります

日本が韓国を支配していたとき、日本は韓国の人々に神社参拝を命令しました。チュ・キチョル牧師と信仰の信徒たちは、偶像崇拜だと言って最後まで拒否して、何人かは殉教しました。レムナントのみなさん、悪い指導者が神様にささげる礼拝を偶像にしると命令するときは、どうしなければならないのでしょうか。チュ・キチョル牧師と信仰の信徒たちのように、きっぱりと拒否できる信仰と勇気が必要です。

神様がゆるされた指導者にしがって、心をつくして祈ることができるようにさせてくださってありがとうございます。しかし、指導者が福音をふせぐときは、きっぱりと戦うことができるように大きな信仰をください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

✪ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



## 国のために<sup>いの</sup>祈りましょう

普天間基地問題、温暖化対策、国家の予算の問題、自殺の増加問題などなど、  
国中が政治経済の問題で大変な状況です。指導者（権威者）は、神様が立てられました。  
その人々が神様のみこころに合う国にして、よく治められるように、祈ってあげましょう。  
下のふきだしに、力づけることば、助けることばを書いてあげてください。



木曜日

18

### きょうのみことば

使徒 4:12

この方以外には、だれによっても救いはありません。世界中でこの御名のほかには、私たちが救われるべき名としては、どのような名も、人間に与えられていないからです。

## 唯一性を持ったレムナントの姿勢

教会の歴史は、いつも福音を持った者と福音を閉ざす者との間の戦いでした。

ユダヤ人たちは、律法を守ってこそ救われることができると言いました。しかし、初代教会は救われる唯一の道を、律法ではなくイエス・キリストだと言いました。それで、彼らは初代教会を迫害しました。

しかし、313年後にキリスト教は国教になりました。初代教会が結局、勝利したのです。

ところが、教会が歳月が流れて墮落しました。「このふだを買えば、すべての罪が許されて天国に行きます」と言いながら、まちがった救い(贖宥状)を伝えました。このとき、マルティン・ルターは「義人は信仰によって救われる」と言いました。教会は、ルターを殺そうとしたが、神様は正しい福音を伝えるルターを勝利させられました。

レムナントは、この貴重な福音を持っている人です。おどおどして、ちぢこまらないでください。福音を持っている人らしく、神様の子どもらしく、堂々としていればよいのです。そして、私が一番よくできることで「唯一性」の答えを受けるほどの存在だという事実を忘れないでおいってください。

イチロー選手でなくても、野球選手は多いのですが、イチロー選手に追いつける選手がないと言われるでしょう。それがまさに「唯一性」ということです。

みなさん、私たちはみんな唯一性に挑戦しましょう。そのために、心と姿勢はとて低くして、友だちを追い出さずきらうのではなく、気をくばってあげて、手助けする美しい人になりましょう。そして、世界福音化を心に抱いて、大きい夢に挑戦するすてきな人になりましょう。これが福音の唯一性を持っているレムナントの姿勢です。

唯一性の祝福をあたえてくださった神様に感謝します。今日から唯一性の主人公であるイエス様と一っしょに高いところを見て、夢をみさせてくださり、心は低く人に任せ、契約がなされる、その日を望むようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



ニヤカ シャマ  
げいじゅつ  
レンズの中の芸術  
しゃしん さっか  
写真作家



ジャジャーン！レムナントのみなさん、こんにちは。

今月は、レンズを通して世の中を見る写真作家について見てみましょう。

写真作家として活動しているムン・ミナ長老をお迎えしました。こんにちは。教授

こんにちは！「祈りの手帳」のフォトエッセイを連載している写真作家のムン・ミナです。

長老さん、写真作家を夢みているレムナントがとても多いのです。

写真作家になるにはどうしたらよいのですか。

物事に対する好奇心と愛情、そして、観察力がすぐれている子どもならば、だれでも写真作家になることができます。ただ、写真を撮影するために、旅行にたくさん行かなければなりません。旅行好きで、機械があつかうのが好きならば、立派な写真作家になる可能性が高いです。

そうですか。唯一性の答えを受けるために、かならず理由を発見しなければなりません。おぼえておきますね。それなら、作品について少しお話ししていただけますか。まず写真の作品をとるために、どれくらいの時間がかかりますか。

どんな写真をとるのかによってちがいます。ポラロイド写真のようにとると同時にすぐに形になる作品もあって、数年かかるケースもあります。





今までいちばん記憶に残っている写真はどれですか。



何年か前に産業宣教大会で数十名の産業人と宣教師、伝道者が一ヶ所に集まって撮影したことがありました。福音のために一ヶ所に集まったという感激と歴史に残る写真を私がうつしたという感謝のゆえか、もっとも記憶に残っています。



お話を聞いている私もすごく感激するのですから、写真をとった長老さんは、もっと感激だったでしょうね。長老さん、写真作家の魅力はなんですか。



百回聞いても一回見ることにはおよばないという、百聞は一見にしかずということばがあるでしょう。写真作家の魅力は、言葉で百回聞いても仕方ありません。その味を知らなければ、写真は瞬間の芸術なのです。瞬間をうつして、歴史に記録して、次世代に伝える芸術です。その魅力は、本当に言葉にすべては言えません。レムナントが直接、カメラを持って写してみれば、私が何を言っているのかわかるようになるでしょう。



最後にレムナントにひとことお願いします。



私は小さいころから写真が好きでした。それで、趣味の生活で始めました。そうするうちに、大学を卒業して大学院に行って写真を専攻するようになりました。前に話したように、写真は瞬間の芸術です。私の中に入っている考えと知識と好みなどが、写真をとる瞬間に入ります。そのために、学校の勉強を通して学問的知識と教養などを先にたくさん習得しなければなりません。そのあとにおとなになって写真を始めても遅くありません。それで、レムナントに頼みたいのが「今日」をのがさずに最善をつくしなさいということです。

金曜日

19

きょうのみことば

ピリピ 4:6-7

何も思い煩わないで、あらゆるばあいに、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。

## もんだい しゅくふく 問題は祝福です

おさないときに、マイケル・フェルプスは注意欠陥・多動性障害（ADHD）だと言われました。彼の親は、彼の集中力を高めるために、水泳をさせました。ところで、彼は2008年の北京オリンピックで金メダルを8個とる最高の水泳選手になりました。

### 1. 問題の中に祝福があります

問題を見れば苦しくて逃げたくなりますか。問題を問題として見ることが、本当の問題です。フェルプスも ADHD という問題がありました。聖書の中のレムナントにも多くの問題がありました。しかし、彼らは問題を見てため息をついて、あきらめることはありませんでした。神様の計画を発見して勝利しました。問題があるということは、神様が私にスーパースターになる機会をあたえられたということです。感謝しながら、問題をおいて祈ってみましょう。そうすれば、それまでは見ることができなかった祝福と悟り、感謝が発見できるようになります。そして、未来に対する確信が生まれます。

### 2. 心と思いを守りましょう

すべての心配と問題を祈りの課題に変えてみましょう。神様は考えを通して祝福を悟るようになされ、心のうつわを広げていちばん大きな答えをくださいます。しかし、悪いサタンは、心と思いを攻撃します。それで、神様に心と思いを守ってくださるよう祈るべきなのです。

私の心と思いを守ってくださる神様に感謝します。問題の中で答えを見つけて、祝福を味わって、神様の願いである真の伝道と宣教の働きの中に入れるように、導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

※ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



20日(土)

## 答えられる人だけが

知る

祝  
福

しゅくふく

「神様、祈りの手帳で一日をはじめさせてくださって感謝します。今日、あたえられたみことば『神様の計画と備えられた出会い』が成就する一日がなるようにしてください。イエス様のお名前でお祈りします。アーメン」

「お~い。ケイ! とても早く来ているね。私が今日は一番だと思っていたのに…ところで、なにをしているの」

ケイは、びっくりしながら答えた。

「ああ、びっくりした。でも、あなたこそ、どうということなの。こんなに早い時間に」

カオルは、頭をあちこちかきながら話した。

「お父さんとお母さんが、朝からけんかをしていたの。その声を聞きたくなくて、ごはんも食べないで出てきたの。ところで、その本は何なの?」

カオルは、ケイの机の上にある本をとった。カオルは本の表紙を見て「祈りの手帳?」と言ってページをめくった。ケイは、カオルの手から本をさっと取りながら話した。

「うん。祈りの手帳は、みことばを毎日黙想できるように作られた本なの」

カオルは、不思議そうな顔になった。

「それでね…本に黙想のみことばが毎日出ているのに、私はみことばを通じてイエス様に会うの。



イエス様に会えば、心が安らかになって、暗やみの勢力<sup>せいりょく</sup>がくずれて、聖霊様<sup>せいれいさま</sup>がくださる新しい力を受けるの」  
「ええ？心に安らぎ？暗やみの勢力<sup>せいりょく</sup>ってなに？」

カオルは、さっきよりさらに不思議そうな顔になった。

「あなたのお父さん、お母さんが朝からけんかをしたのでしょうか。おたがいにきらいに

なって、誤解<sup>ごかい</sup>させる暗やみの勢力<sup>せいりょく</sup>が、お父さん、お母さんをけんかするようにさせたのよ。イエス様を受け入れれば、暗やみの勢力<sup>せいりょく</sup>をくだく権威<sup>けんい</sup>をくださるの」

「イエス様を信じれば悪霊<sup>あくれい</sup>も見えなくなって、夜に金縛り<sup>かなしばり</sup>にもあわないようになる？」

カオルのことばに、ケイはパッと火が光ったように「神様の計画<sup>けいかく</sup>と備えられた出会い」というみことばを思い出した。ケイは思い出したように話した。

「もちろん！イエス様はキリストだから、すべての問題解決者<sup>もんたいかいけつしゃ</sup>よ。イエス様を受け入れ

たら、あなたのすべての問題<sup>もんたい</sup>が解決<sup>かいけつ</sup>されるよ。私<sup>わたし</sup>がイエス様がどなたなのかわしく言ってあげるね」

ケイは、祈り<sup>いの</sup>の手帳<sup>てちよう</sup>に出ている福音メッセージ<sup>ひら</sup>を開いて、カオルに見せた。ケイは、福音メッセージに出ているまま、1行ずつ読んで行った。カオルは、ケイが伝える福音<sup>つた</sup>をすべて聞いて、ケイのあとから受け入れの祈り<sup>いの</sup>をした。

「うん。とても簡単なのね」

「それが正常<sup>せいじよう</sup>なのよ。そして、これ、私<sup>わたし</sup>が少し書いていますけれど、あなたにあげる」

ケイは、祈り<sup>いの</sup>の手帳<sup>てちよう</sup>をカオル<sup>わた</sup>に渡した。カオルはためっていたが、ケイが渡す祈り<sup>いの</sup>の手帳<sup>てちよう</sup>を受け取った。そして、聞こえるか聞こえないか小さな声で「ありがとう」と言った。



🌟 定刻祈りの点検：

昼 12 時

教会のために祈りましょう。

夜 9 時

RUTC のために祈りましょう